

2016年11月10日

鴻巣市長 原口 和久 様

## 鴻巣市特別職の報酬を引き上げないこと求める要望書

日本共産党鴻巣市委員会 委員長 石川喜伴  
鴻巣市松原4-5-46 ☎543-1602

鴻巣市特別職報酬等審議会では、諮問された内容について熱心に審議されていることに敬意を表します。

ご存知のように、今日本経済は、貧困と格差がかつてなく広がり深刻な事態が広がっています。特に若者や女性を中心に年収200万円以下の人達が1100万人を超えました。そしてアベノミクス不況と言われているように国民の消費は落ち込むばかりです。一方で大企業の内部留保は、史上最高の313兆円にも及んでします。こうした経済下で、市民のくらしも大変な状況になっています。

例えば鴻巣市の国保加入者の中で課税所得0世帯が34,6%。そして83,4%は200万円の低所得者です。年金の切り下げ、介護保険料の値上げなど重い負担が市民に押しかかっています。

さらに難病患者手当を5000円から1000円に、敬老祝い金を1万円から順次半額に、時間外保育料の徴収、子ども、重度心身障がい者、一人親家庭の医療費の食事代の自己負担など福祉の一番必要な方々の、福祉施策を後退させています。

こうした状況のもとで、今回鴻巣市特別職報酬等審議会が出そうとしている特別職の報酬の引き上げは、到底市民が納得できるものではありません。

市民のくらしに実態が一番よくわかる、特別職の方々こそ市民のくらしに寄り添った対応をすべきであると考えます。

こうした点からも

鴻巣市特別職の報酬を引き上げないことを強く求めます。

この要望について、ご検討いただきますようお願い申し上げます。